



## 旭川の果樹栽培

### 北限の産地でたくさんの種類のくだものを栽培しています

旭川では、神居町神居古潭、西丘、富沢地区と東旭川地区で果樹園が営まれており、さくらんぼとりんごを中心に、なし、ぶどう、すもも、ブルーベリーなど、たくさんの種類のくだものを栽培しています。さくらんぼとりんごの生産地としては北限となっています。

### 旭川のくだものには、100年以上の歴史があります

旭川での果樹栽培の歴史は古く、今から100年以上前の明治26年(1893年)に、上川御料地内(現在の神楽地区)にりんごなどの苗木が植えられたのが始まりです。その後、明治40年(1907年)頃に神居古潭地区でりんごの栽培がはじまり、丘陵地帯に果樹園が広がっていきました。北限での栽培は厳しく、冬の寒さによる凍害やそれに伴う病害などに苦しめられながらも、新しい技術や新しい品種を導入するなど挑戦を続け、産地を築いてきました。さくらんぼの本格的な栽培が始まったのは昭和20年代。平成に入ってから雨よけハウスを導入したことで生産が安定し、さくらんぼ狩りも多く行われるようになりました。

りんごは、昭和50年(1975年)代の半ばに、現在のりんご栽培の主流である「わい化栽培」(木を小さく育てて収穫する栽培方法)が取り入れられ、本格的な生産が始まりました。



## 旭川市果樹協会

[事務局] 〒070-0034  
旭川市4条通9丁目朝日生命ビル4階  
旭川市農政部農業振興課内  
TEL.0166-25-7438 FAX.0166-26-8624  
E-mail. nougyousinkou@city.asahikawa.hokkaido.jp

## ASAHIKAWA FRUITS

# 旭川のくだもの



## 旭川市果樹協会



気持ちのいい日には、  
豊かな自然や  
田園風景に囲まれながら  
旬の果物を楽しもう!